

天草市立天草中学校いじめ防止基本方針

(1) いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針

ア 基本理念

いじめは、いじめを受けた生徒の人権を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせる恐れがある。本校では、すべての生徒及び職員がいじめを行わず、及び他の生徒に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないように、いじめが心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する生徒及び職員の理解を深めることを旨として、いじめの防止等のための対策を行う。

イ 学校及び職員の責務

いじめが行われず、すべての生徒が安心して学習その他の活動に取り組むことができるように、保護者・地域・関係機関との連携を図りながら、学校全体としていじめの未然防止と早期発見に取り組むとともに、いじめが疑われる場合は、適切かつ迅速にこれに対処し、さらにその再発防止に努める。

(2) いじめの防止等のための対策の基本となる事項

ア 学校におけるいじめの防止

- (ア) 学校の重点努力目標の一つに「いじめ・不登校生徒の解消・減少」を掲げ弱い者いじめや卑怯なふるまいをしない、見過ごさないことに組織的に取り組む。
- (イ) 生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通うコミュニケーション能力の素地を養うため、全ての教育活動を通じた道徳教育及び体験活動等の充実を図る。
- (ウ) 保護者並びに地域住民その他の関係者との連携を図りつつ、いじめ防止に資する生徒が自主的に行う生徒会活動に対する支援を行う。
- (エ) いじめ防止の重要性に関する理解を深めるための啓発その他必要な措置として、人権作文・人権集会等を実施する。

イ いじめの早期発見のための措置

- (ア) いじめ調査等いじめを早期に発見するため、在籍する生徒に対する定期的な調査を次のとおり実施する。
 - a こころのアンケート 毎月末に実施（結果を保存する）
 - b 人権旬間に向けたいじめアンケート 年3回（6月、11月、1月）
 - c 教育相談に向けた事前アンケート 年2回（5月、10月）
- (イ) 生徒の実態を全職員で共有し、協力して生徒指導を行うために定期的な生徒理解の時間を次のように設定する。
 - a 職員会議・職員研修での生徒理解の時間を確保する。
 - b 毎週金曜日の職員朝会での生徒理解の時間を確保する。

ウ いじめ相談体制

生徒及び保護者がいじめに係る相談を気軽に行うことができるよう、教頭及び情報集約担当者（生徒指導主事）、こころの教室相談員をいじめ相談の窓口として活用する。

エ いじめの防止等のための対策に従事する人材の確保及び資質の向上

いじめの防止等のための対策に関する研修を年間計画に位置づけて実施し、いじめの防止等に関する職員の資質向上を図る。

オ インターネットを通じて行われるいじめに対する対策

生徒及び保護者が、発信された情報の高度の流通性・発信者の匿名性・その他のインターネットを通じて送信される情報の特性を踏まえて、インターネットを通じて行

われるいじめを防止し及び効果的に対処できるように、必要な啓発活動として、情報モラル研修会等を行う。

(3) いじめ防止・解決等のための組織「いじめ・不登校対策委員会」の校内設置

いじめの防止・解決等を実効的に行うため、次の機能を担う「いじめ・不登校対策委員会（生徒指導推進委員会の中に含まれる）」を設置する。

ア 構成員

校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、学年生活担当、養護教諭、心の教育相談員「情報集約担当者」は生徒指導主事とする。

イ 活動

a 生徒理解

b いじめの早期発見に関すること（アンケート、教育相談等）

c いじめ防止に関すること。

d いじめ事案解消に関すること。

ウ 開催

毎月第1水曜日にいじめ不登校対策委員会を生徒指導推進委員会と同時に実施する。

(4) 学校外の委員をいれた組織の設置

いじめの未然防止・解決等を実効的に行うため、学校代表者会をこれにあてる。

ア 構成員 各校長 教頭 各生徒指導主事

イ 活動

a 生徒理解・いじめ未然防止に関すること。

b 長期休業中の生徒指導に関すること。

c 町内での生徒の行動に関すること。

(5) いじめに対する措置

ア いじめに係る相談を受けた場合は、すみやかに事実の有無の確認を行い、情報集約担当者へ報告する。

イ いじめの事実が確認された場合は、いじめをやめさせ、その再発を防止するため、いじめを受けた生徒・保護者に対する支援と、いじめを行った生徒への指導とその保護者への助言を継続的に行う。

ウ 「いじめを受けた生徒等が安心して教育を受けられるための必要があると認められるときは、保護者と連携を図りながら、一定期間、別室等において学習を行わせる措置を講ずる。

エ いじめの関係者間における争いを生じさせないよう、いじめの事案に係る情報を関係保護者と共有するための必要な措置を講ずる。

オ 犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、教育委員会及び所轄警察署等と連携して対処する。

(6) 重大事案への対処

生命・心身又は財産に重大な被害が生じた疑いや、相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合は、次の対処を行う。

ア 重大事態が発生した旨を、天草市教育委員会に速やかに報告する。

イ 教育委員会と協議の上、当該事案に対処する組織を設置する。

ウ 上記組織を中心として、事実関係を明確にするための調査を実施する。

エ 上記調査結果については、いじめを受けた児童・保護者に対し、事実関係その他の必要な情報を適切に提供する。

(7) 学校評価(生徒・保護者・職員)における留意事項

いじめを隠蔽せずいじめの実態把握及びいじめに対する措置を適切に行うため、次の2点を学校評価の項目に加え、適正に自校の取組を評価する。

ア 命の大切さする心を育むこと。

イ 人権を尊重する意識を育むこと。